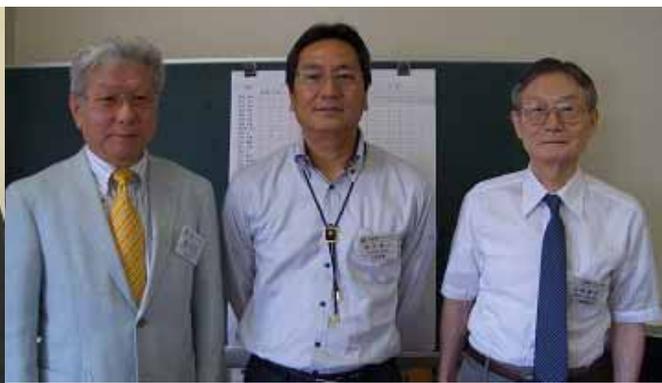


RI 第2820地区

# 水海道ロータリークラブ



ユリオプスデージー



出席委員会

下村清智委員 橋本忠昭委員長 青木清人副委員長 山崎善市委員

夢をかたちに  
2008-09年度 RI会長  
李 東建

2008-09年度 会長テーマ

確かな絆で未来へ

VOL. 46 No.12 (通算No.2173)

10月 1日 (水)

2008 2009年度 会長 秋 田 政 夫 幹事 染 谷 正 美

創立 1963年9月25日

例会場・例会日

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 2790

常陽銀行水海道支店内 3F

毎週 水曜日 12:30 ~ 13:30

0297-22-1251

事務所

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 3386

釜久ビル 3F

0297-30-0875 Fax0297-30-0876

E-mail [mitsu-rc@lapis.plala.or.jp](mailto:mitsu-rc@lapis.plala.or.jp)

URL <http://www.mitukaido-rc.jp/>

# THE WEEKLY REPORT

## 2008年10月1日(水)例会プログラム

点鐘  
君が代・ロータリーソング  
ビジター紹介  
出席報告  
SAA報告  
諸報告  
幹事報告  
会長挨拶  
職業奉仕月間に因んで  
熊谷 昇職業奉仕委員長



## 表紙 花の説明

菊(きく)科。  
◦学名 Euryops pectinatus  
Euryops : ユリオプス属  
pectinatus : 櫛(くし)の歯状の  
開花時期は、9/25頃～翌5/ 末頃。  
長い間咲き続ける。  
◦南アフリカ原産。  
1972年にアメリカから輸入された。  
◦花は咲く前は白い房に包まれている。  
◦葉っぱはおじぎ草に似ている。

例会報告 Vol.46 No.11 (No.2172) 9月24日(水)晴れ (司会北村英明委員長)

## 本例会での主な事項

会長挨拶 秋田政夫会長

外部卓話 米山奨学生 洪 シウォンさん

## ビジター

米山奨学生 洪 シウォンさん

## 表彰 マルチプル・ポールハリスフェロー



山崎善市会員

福田克比古会員

松村仁寿会員

皆葉瑞男会員

## 幹事報告 (染谷正美幹事)

週報受理クラブ 水戸RC、水戸西RC、水戸東RC  
例会変更クラブ なし



# THE WEEKLY REPORT

会長挨拶 秋田政夫会長



こんにちは。暑さ、寒さも彼岸までと言いますが、朝夕めっきり涼しくなってきました。これから本格的な秋の季節を迎え、秋の寂しさを感じる人、あるいは秋の喜びを感じる人、また様々な秋を表現する諺の中で「天高く馬肥ゆる秋」「食欲の秋」がありますが、今、日本の社会に不安を投げかけている大変大きな食の問題「汚染された食用としての工業用事故米の偽り、転売」が連日報道されています。食料の60%を輸入に頼り、カロリーベースで食料自給率39%の日本の現状は「食の安全」について真剣に国民が関心をもち、農業の振興による「地産地消」の確立、促進を図っていかねばこの食への不安は解消されません。今年、5月に農水省による「食料

の未来を描く戦略会議」が開催されました。そして、国民へのメッセージとして「食料の未来を確かなものにするために」のガイドラインが提示されました。すなわち、食料をめぐる諸事情等に対する国民の共通認識の醸成を図り、消費者、生産者、事業者、行政機関による食料、農業、農村に関する課題への取り組みを促進することで提示されたばかりの衝撃的な今回の出来事、事件となりました。

そして、またその戦略会議のいくつかの決定事項は次のとおりです。

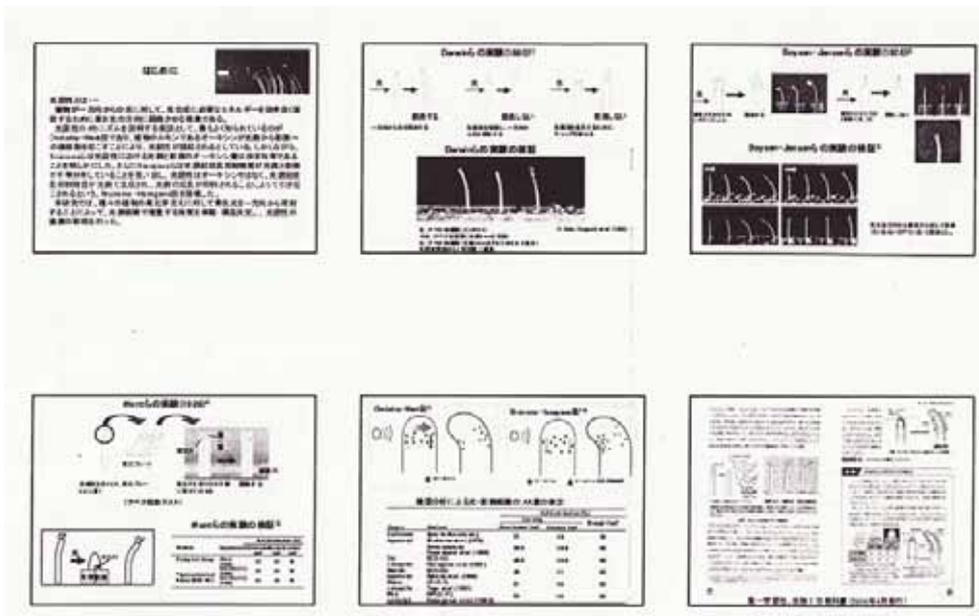
1. 国際的な食料事情を踏まえた食料安全保障の確保。
2. 国内における食料供給力の強化を図ること。
3. 食料供給コストを平成17年から5年で2割縮減。
4. 消費者の信頼と食品の安全の確保にむけた取り組みとして、平成22年までに7割以上の中小食品事業者において企業行動規範を策定すること。
5. 農林水産物、食品の輸出額を平成25年までに1兆円に拡大する。
6. 平成23年までにおおむねすべての主要産地(約2000産地)においてGAP(農業生産工程管理手法)、HACCP(危害分析重要管理点手法)主に畜産分野において導入推進し、生産から食卓までの食費音の安全を確保すること。
7. 食育の一環として、ご飯に関する正しい知識の普及により、コメを中心とする食生活の実践を推進すること。
8. 地方再生に向けた農山漁村活性化対策の展開による地域、都市住民、NPO、企業等の多様な協働により、祭りや伝統文化の保全、復活、魅力ある地域固有の景観づくり、小学生を対象に農山漁村での長期宿泊体験プロジェクトの推進。
9. 国産バイオ燃料の大幅な生産拡大、平成23年までに国産バイオ燃料5万kl生産する。また、技術開発により2030年頃までには600万klの生産の可能をめざす。
10. 農林水産業と食品産業等の連携強化。すなわち、農商工連携の積極的推進を図ること。
11. 農業に関する国際交渉等への戦略的な対応。すなわちWTO農業交渉への取り組み策。
12. 国内生産、農林水産物、食品の輸出促進。
13. 消費者の信頼の確保。内閣府、公正取引委員会、警察庁、厚生労働省、農林水産省により構成する食品表示連絡会議(国レベル)や関係都道府県機関と国の機関による食品表示監視協議会を通じて連携を図ること。
14. 意欲と能力のある農業担い手の育成を図ること。すなわち、個人、個人の農業生産から大規模化された集落営農や集約農業への転換により、生産性の向上を図ること。いづれにしても食の安心安全は、食料、農産物生産の海外依存体質からの脱却を図り、まずは自給率を上げることが先決ではないでしょうか。



# THE WEEKLY REPORT

## 外部卓話

米山奨学生 洪 シウォンさん



## 出席報告 (青木清人副委員長)

会員総数	出席者数	欠席者数	賜暇	メーク	出席率
51名	37名	14名	0名	4名	72.55%

ニコニコボックス(横山 修SAA)

入金計 ￥12,000 累計 ￥678,000

洪 シウォンさん、本日卓話宜しくお願ひします。 北村(英)・横山 各会員  
 例会欠席が続きました。久し振りの出席で「新入会員」の時の気持ちを思い出しました。100%例会出席表彰  
 穂戸田会員

先週、欠席申し訳ありません。 鈴木(勝)会員

会報委員会 青木正弘委員長 須藤義定副委員長